

## 令和7年度 福島市文化振興審議会 会議録

- ◆日 時 令和7年6月27日（金） 午後2時00分～午後3時30分
- ◆場 所 福島市市民センター 303会議室
- ◆出席者 委 員：初澤敏生会長、嶋原明寿委員、齋藤幹夫委員、村川友彦委員、丹野義明委員、  
高橋康委員  
事務局：7名

### ◆次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議事（議長：初澤会長）
  - (1) 報告
  - (2) 協議
- 4 その他
- 5 閉 会

### ◆報告「福島市文化振興計画に関連する事業一覧について」質疑応答・委員意見

#### 【委員】

これらの事業を実施した結果、どういう反響があったかきちんとまとめてほしい。去年の実績がどの程度反映されているかわからないが、今年度の実績を来年度の事業に生かしていただきたい。音楽堂についての活用は、ほとんど古閑裕而関係の事業ということで捉えているが、あそこにあるパイプオルガンはすごくいい。公共施設で設置しているのは近隣自治体にはない。パイプオルガンを福島市のメインにしてもいいくらい。それをもっと活用して「福島市と言ったらパイプオルガン」と言われるくらいパイプオルガンをメインにした事業を考えてほしい。

また、今回の事業には入らないと思うが、福島の民族芸能ということで「金沢の羽山ごもり」や「御山の太々神楽」などももう少し取り上げていただきたい。その中で、秋の稲荷神社の例大祭の連山車についてだが、踊り屋台というものを一台復元した。元々は連山車の太鼓屋台の前は、各町会で踊り屋台を披露していた。何年かはっきりわからないが、今は太鼓屋台という形に代わっている。踊り屋台は稲荷神社の駐車場の脇に備わっているが、立派なものが残っているので、こういったものをもっと活用したい。例えば、会津には子供歌舞伎という有名な芸能があるが、これ呼んで屋台で披露してもらおうと注目されると思う。せっかく復元した立派な踊り屋台があるのだから、ぜひ何かの形で活用したらいいのではないかと思う。

#### 【委員】

趣味で音楽活動をしているが、知り合いの団体に普段どこで練習しているかを聞くと、学習センターが多い。学習センターの申し込みは基本3か月前であり、学習センターで何かイベントをやろうとして1年前に計画しても、会場を予約できないので活動の方向が決まらない、という話を昔から聞いている。以前も申し上げたことがあるが、条例で決まっているので変えられないという返事だった。活用しやす

いようにもう少し柔軟に対応していただきたいと思っており、色々ところでこういうお話をさせていただいている。

【委員】

旧広瀬座の再整備事業について、たまたま今年見る機会があったのだが、工事中の広瀬座が素晴らしい。屋根の葺き替えは材料が奈良の吉野杉を使用し、職人が岡山から来ている。匂いもすごくいいし、職人が竹のくぎで打っているがその技法がすごく素晴らしい。東北では昔からの技法で建物の修復をすることはそんななことだと思う。せっかくこれだけ素晴らしい技術を持った集団が、素晴らしい材料を持って作業しているので、皆さんにお知らせする機会があってもいいのかと思う。現場を見せるというのはなかなか難しいのだろうが、あれだけお金をかけて、あれだけの人材を集めて、それで福島の文化財が残っていくものだから、一時開放や現場を見せたりして、市民に対してもっとアピールしてもいいのではないかと思う。

【委員】

福島DCと大ゴッホ展についてだが、DCとはJRと県、各市町村が連携して3年間に渡って行う大型キャンペーン。本番は来年の4～6月で今年がその前年のプレキャンペーンで、2年後がアフターキャンペーンとなる。毎年4～6月で3年間実施されるが、正直今年は全然盛り上がっていない。理由を色々聞いて見ると、同じ時期に大阪でもキャンペーンをやっていてお客さんが万博に流れていると聞いている。ただ、万博は今年だけなので、来年は福島が注目されてくると思う。

大ゴッホ展については、教科書にも出てくるような名画が2年間にわたって美術館で展示される。福島に住んでいる青少年、小中学生が世界的な名画に触れる機会をしっかりと作っていただきたい。当然、これを機に日本中、世界中から来県して大混雑すると思うが、渋滞等の対応については実行委員の方々が中心となって対応してほしい。

また、民家園の中にある「にぎ和伊カフェむろいし」というカフェでは、桃を使ったパフェを提供している。民家園、広瀬座の素晴らしい文化を見ていただきつつ、福島の独自の果物文化も併せて体験していただくことで、福島の魅力をより楽しんでいただけるのではないかと思う。

【委員】

今年ジブリ展が開催される。ゴッホ展の予行練習にもなって、来年の予想もつくと思うが、その辺りはどうか。

【委員】

ジブリ展の開催情報は早くから入手していたが、チケット購入は「事前予約制」ということを先週やっと聞くことができた。台湾の旅行会社との商談の際に、来年ゴッホ展が実施されることを説明したが、「送客したいが、どうやって予約してらいいのか」ということをよく聞かれる。情報が固まっていないため上手く回答できず、もどかしい思いをしているのが現状。今年のジブリ展は来年のゴッホ展の予行練習にはなると思うが、詳細な情報はまだ入っていない。強いて言えば、数年前に開催された若冲展では大混雑があった。その際、見に来られた方が飯坂の旅館に宿泊したという話も聞いたので、ゴッホ展についてもただ見に来るだけでなく、温泉地や花見山を巡るとかプラスアルファで市内の観光をご覧いただいてお金を落としてもらいたい。

【委員】

ジブリ展は完全に事前予約制なので混雑しないようになっている。そうすると上限が限られているの

でそれを上回るようなお客さんが来ないのではないかと思う。大阪万博が並ばないようにしようという事で制限をかけているのと同じだが、逆に言うと入込目標に達しないという状況も発生するかもしれないと感じている。

また、外国人を呼ぶとしたら福島空港ではなく仙台空港の方が活用しやすい。仙台空港をいかに活用するかということ色々な会議で話しているが、行政はなかなか動いてくれないので、民間の方でぜひ頑張って動いてほしい。

【委員】

文化団体連絡協議会の加盟団体が69となり、70を切ってしまいとても残念。学習センター等の施設を利用する団体に1団体でも多く加盟していただけるような施策をとっていただきたい。

学校での部活動の在り方については、地域移行が進んでいる。文化団体に関連したものがあれば、交流しながら話し合いを進めてほしい。

【委員】

意見をまとめると、まず72事業をやりっぱなしにするのではなく、評価をきちんとやっていかなければならない、という意見があった。これはPCDAにも結びついてくる。今年は計画策定後の初年度ということもあってこれでもいいとは思いますが、来年以降はどのように評価し、事業に反映するのか。場合によっては目標値を設定する必要も出てくるのではないかと思う。

また、様々な文化にもっと注目してほしい、という意見があった。この中に書かれていないような文化、福島にも特徴ある文化がたくさんある、そういうのも取り上げてほしい

それから、施設について予約制度含めてもっと使いやすくすることは出来ないだろうか、という意見があった。ぜひご検討していただきたい。

あとは学校の活動との連携。民俗芸能もそうだが、学校と連携して保存活動をしているところがずいぶんたくさんある。そういったところなどももっと注目してやっていく必要があるかもしれない。

#### ◆協議「福島市文化振興計画に推進（令和8年度文化振興施策等）について」質疑応答・委員意見

【委員】

市全体で見ると文化施設は非常にお粗末といえますか、市の施設として良くない状態と思う。大きくは博物館の問題。前から色々な人が言っているが、指定文化財あるいは絵画については、劣化や火災の観点から非常に危ない保管、保存の仕方をされている。箱モノと言われていますが、中身を入れるものなので、箱だけではなく中身の問題。なぜか箱モノと言われ嫌煙されていて納得できない。貴重なものをきちんと保存する場所がないということが一番の問題。そういう施設が無いという問題を本気になって考えていただきたい。また、それに伴う専門職員不足の問題もある。体制整備についても着手してほしい。

【委員】

昔、県文化センターで仕事をしていた。美術資料館の事務をしており、様々な展覧会を実施した。そのときに、福島市の歴史資料は木造の建物にただ置いてあるだけという話を聞いたので、はやくしっかりとした施設で保管して、それを市民に展示してほしいと思う。

【委員】

旧まつかわ西幼稚園は20年以上前に廃園したが耐震的にも問題なく使える。現在は教育委員会で管理しており、鍵を借用して様々なイベントを実施している状況。旧東湯野小学校を活用した文化財調査室整備という事業があるが、旧まつかわ西幼稚園についても同様に整備して、地域の文化財を保管、管理したり、例えば音楽活動の練習場所として活用したりできないのか。

【事務局】

旧東湯野小学校については、文化財調査室という埋蔵文化財の発掘調査の作業を実施している施設を移転するものであり、文化活動の場所として貸し出すためではなく、発掘したものを調査するためのスペースとして改修するものとなる。

廃校や廃園となった施設の活用については所管外だが、市では廃校になった学校等をこれから活用できるかどうかを検討する委員会がある。文化財調査室は既存の調査室が北矢野目にあるが現在の建物が老朽化して使えなくなってしまうのでどこかに移転整備しなくてはならないということで廃校になった東湯野小学校を活用することになった、という流れである。廃校となった学校等に新たに施設を整備することは政策的な判断となるが、今はそこまで至らずに、地元で使用いただいているという状況である。

【委員】

今年度、広瀬座の改修工事が終わると思うので、令和8年度は観光誘客につながるようなイベントが行われることを期待している。

【委員】

福島市内に古い建物がほとんどない中で写真美術館は貴重な建造物である。施設のイベントを通して、多くの方に文化財そのものの価値を理解していただけて活用してもらいたいと思っているので、もう少し写真美術館の素晴らしい点をPRしてほしい。

【委員】

意見をまとめると、博物館は単に箱モノを作るのではなく、資料を適切に保管、保存するために必要であり、福島市としても整備していくことが必要なのではないかというご指摘。

廃校等の活用については、先ほども施設をもっと使いやすくしてほしいというような話があったが、おそらく根底にあるのは、施設が不足しているということなのではないか。そうすると、廃校やあるいは今ある学校でも使っていない教室などだいぶ出てきているかと思うので、そういう空きスペースをうまく活用していくことはできないのかということにも結びつくご意見だったと思う。

ふと、私が思ったのは、学校には意外と昔の貴重な資料が残っている。学校資料は博物館でも保存してあるが福島市ではあまり聞かない。もしかしたらそういった資料が保存されないまま廃棄されていないか心配なところである。そういったような貴重な資料があった場合は廃棄される前に何らかの手を打つ必要があると感じた。昔の先生のノートが大変貴重な資料になっているところもあるので、もしそういうものがあればなんとか保存してほしい。

あとは、広瀬座と写真美術館についての活用などの意見があった。

少し付け加えると、今、東口再開発をやっているが、一部でいいから福島市のことを紹介するコーナーを置いてほしい。場合によっては観光とセットで作ってもいいかなと思う。まさにゲートウェイとして、福島の文化観光を紹介できるようなところを作ってほしい。以前は、まちなかに資料館があったが、小さくてもよいので代替施設のようなものがあると、福島のゲートウェイとして全体を紹介し、そこから各

地域に誘導する、というようなところもつくれると考える。

また、郡山市では市史を改訂しようという大きなプロジェクトが動き始めている。福島市史も完成してから何十年と経つが、郡山市では市史が完成した後、10年毎に追補版として一冊出している。本冊が出てから60年経っており、その間、新たな発見等もあったため市史を書き換えないとだめだということになっている。福島市も、もう一度市史全体を見直して、構想を作り直してもいい時期かもしれない。

昨日大学のゼミで方言について触れた。福島市の方言も地域によってもかなり違う。そういうことも記録に残しておかないと、おそらく、あと2、30年経ったら消滅してしまう。こういったところも保存していかなければならない。文化は放っておくと無くなるので、その前に記録に残したり保存しておかなければならない。1、2年でできる話ではないので、長期的な視点で考えていただければと思う。

委員】

福島市は市史編纂後も編纂室が解散されず残っているので、他市からすると珍しい。市史編纂してから相当経過しており、書き換えなければならぬところも出てきているので、大変な事業ではあるが是非今から考えていただきたい。

【丹委員】

福島市には明治、大正の建物が残っていない。無いものはしょうがないが、そろそろ近代建築物の保存活用も考えていかなければいけない時期にきている。例えば教育会館は福島出身の有名な建築家が設計したものだが、今となっては存亡の危機を迎えている。こういうものに市や行政が関与して、活用する方向に持っていけないのかと感じている。

【委員】

音楽堂、県文化センター、公会堂があったときは演奏会場の不足を感じなかったが、現在公会堂は使えなくなり、県文化センターも工事中のため、音楽堂の取り合いとなって、予約できず諦めてしまった音楽団体もいると聞いている。県文化センターは来年再開するが、公会堂も含めて、できるだけ早くホール数を復活させてほしい。

【委員】

東北電力の南側に3階建ての建物がある。同じような建物が新町にもある。あまり立派な建物ではないが、戦後に闇市のために造られた建物であり、建築家が見ると珍しいと言う。住んでいる人もいるので、今すぐ何か活用という話ではないが、そういった貴重な建物があるということも知っていただきたい。また、腰浜町には昔銀行だったという個人の建物もある。よく探せば、そういった建物も残っている。

【委員】

掘り出して明らかにしていかなければいけない福島の文化がまだまだたくさんあるということが指摘されたと思う。ぜひ、そういった資源にも光を当てて、保存していくことも市には取り組んでいただきたい。

色々意見が出てきたが、この会議は年に1回開催されるので、次回は来年の同時期に実施される。本日の議論や意見等を事業に反映させていただければと思う。